

# 令和元年度（2019年度）第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議会議録

- 開催日時：令和元年（2019年）8月30日（金） 18:30～19:40
- 開催場所：函館市本庁舎8階第1会議室
- 出席者
  - 委員：奥平委員，大橋委員，中野委員，西田委員，相庭委員，三島委員  
（委員名簿順〔6名〕）
  - 市側：〔企画部〕湯浅部長，三原室長，佐藤次長，高橋課長，坂田主査，  
上戸主事

.....

## 次 第

- 1 開会
- 2 委員および事務局紹介
- 3 議事
  - （1）委員長および副委員長の選任について
  - （2）活性化総合戦略の評価および新戦略策定スケジュールについて
  - （3）函館市活性化総合戦略の評価・検証について〔平成30年度実績〕
  - （4）地方創生交付金対象事業の評価・検証について〔平成30年度実施事業〕
- 4 その他
- 5 閉会

..... **1 開 会** .....

(事務局 高橋課長)

ただ今から、令和元年度第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議を開催する。

私は、本年5月に人事異動となった企画部計画推進室計画調整課長の高橋である。

本会議については原則公開で行い、会議内容については、開催後に本市のホームページで公開する。

また、本日の会議は、都合により2名の委員が欠席し、委員6名での開催となる。

..... **2 委員および事務局紹介** .....

(事務局 高橋課長)

委員改選後、初めての会議であるため、選任された委員を紹介する。

産業分野で、函館国際観光コンベンション協会の中野委員である。

学識分野で、函館大学の大橋委員である。

同じく学識分野で、函館工業高等専門学校の大橋委員である。

金融の分野から、北洋銀行の西田委員である。

報道の分野から、株式会社ニューメディア函館センターの相庭委員である。

公募委員の三島委員である。

なお、産業分野で、函館商工会議所の外崎委員と、労働分野で、連合北海道函館地区連合会の八木橋委員は、都合により欠席している。

次に、事務局職員を紹介する。

本年4月に人事異動となった企画部長の湯浅である。

本年5月に人事異動となった計画推進室長の三原である。

企画部次長の佐藤である。計画調整課主査の坂田である。

..... **3 議 事** .....

(1) 委員長および副委員長の選任について

(事務局 高橋課長)

設置要綱第6条第3項に基づき、本来は委員長が会議の進行を務めるが、委員長が決定するまでの間、私が議事進行を務める。

それでは設置要綱第5条第2項に基づく委員長の互選について、事務局から提案したいが、よろしいか。

(異議なし)

委員長は、奥平委員にお願いしたい。よろしいか。

(異議なし)

奥平委員に委員長をお願いする。委員長席への移動をお願いする。

以降の進行は、奥平委員長にお願いする。

(奥平委員長)

委員長を拝命し、気の引き締まる思いである。毎年行っている評価は、大体評価のシステムはできあがってきていると思う。内容について事務局から説明があるが、分からない点はどんどん聞いていただくことが必要である。内容は理解していただき、迅速な会議の進行にご協力いただ

くようお願いする。

それでは次第に従い進めさせていただく。

次に、副委員長の選任だが、私の方から推薦したいが、よろしいか。

(異議なし)

大橋委員を推薦したいが、よろしいか。

(異議なし)

副委員長は大橋委員に決定する。副委員長から挨拶をお願いしたい。

(大橋副委員長)

副委員長に指名いただいた大橋である。委員長をサポートし、会議の円滑な進行に努めていきたいと考えている。よろしくをお願いしたい。

## (2) 活性化総合戦略の評価および新戦略策定スケジュールについて

(奥平委員長)

本日は、3件の議題があり、一つ目は活性化総合戦略の評価および新戦略策定スケジュール、2つ目は函館市活性化総合戦略の評価・検証について、3つ目は平成30年度に実施した地方創生交付金対象事業の評価・検証について、ボリュームがあるのでスムーズな議事進行をお願いしたい。

それでは、議事(2)「活性化総合戦略の評価および新戦略策定スケジュール」について、事務局より説明をお願いする。

(事務局 坂田主査)

【資料1】に基づき説明

(奥平委員長)

今後のスケジュールについて、何か質問等あるか。

あと2回、今日を入れて3回の会議が行われ、新戦略を策定していく流れということである。それでは、そのようなスケジュールで、以後、推進会議も開催するので、協力をお願いする。

## (3) 函館市活性化総合戦略の評価・検証について[平成30年度実績]

(奥平委員長)

それでは、議事の(3)「函館市活性化総合戦略の評価・検証」について、事務局より評価・検証の方法等について説明をお願いする。

(事務局 坂田主査)

【資料2-1, 資料2-2】に基づき説明

(奥平委員長)

評価検証の進め方は、議事を効率的に進めるため、前回から基本目標ごとにまとめて評価検証を行う方法で進めているため、今回もそのように行いたい、よろしいか。

(意義なし)

それでは評価に入る。「基本目標1 経済を元気にする」について事務局より説明をお願いする。

(事務局 坂田主査)

【資料2-2】に基づき説明

(大橋委員)

内部評価のつけ方について、今回から、基本的にK P Iを達成しているものは「A 順調」とし、達成できていないものは「B」以下としたとの説明であったが、例えば、「3 MICE、スポーツ大会・合宿等の誘致強化」の「合宿誘致補助金交付実績」では、平成28年度は46件で「B」、平成30年度は40件で「A」としている。他のK P Iでも、これまでK P Iを超えているのに「B」と評価していたが、今回「A」が付いているものがあり、これは評価基準を変更したからということか。

(事務局 坂田主査)

これまでの内部評価については、目標値を超えていても「B」としているケースが散見されていたため、今回、目標値を超えているものは、基本的に「A」とし、達成できていないものは、「B～D」としたところである。また、特別な理由があるものは、内訳の欄にその理由を記載している。

(大橋委員)

「4 地場産業の活性化」のK P Iは、「デザイン戦略策定」から、「地元企業と地元デザイナーとのマッチング数」に変わったということか。

(事務局 坂田主査)

市内の食品加工企業とデザイナーとのマッチングを行う「函館パッケージ展」を平成30年度から開催したことで、3件の商品のデザインが決まり販売も行っている。これまで行っていた企業のデザイン戦略を策定するという目標から、より具体的な商品のパッケージ作成するK P Iに変更したものである。

(奥平委員長)

「5 新産業の創出」の「競争的資金の獲得4,500万円以上」とあるが、これは単年度目標か、累計目標のどちらなのか。

(事務局 坂田主査)

累計である。

(奥平委員長)

基本目標1の外部評価については、「A K P I達成に有効であった」でよいか。

(異議なし)

(奥平委員長)

次に、基本目標2の施策について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 坂田主査)

【資料2-2】に基づき説明

(大橋委員)

「2 (イ) 事業者への運営支援」について、実績が「拡充」となっているが、拡充した内容を具体的に記載して欲しい。

(事務局 坂田主査)

毎年度、制度の拡充を図っており、拡充の内容が分かりにくい点もあるが、次回以降説明について工夫していきたい。

(奥平委員長)

できるだけ数値化していただきたい。

(西田委員)

「3 (ウ) 教育・保育の質の向上」について、毎年3箇所くらいずつ増加しているが、目標値である30箇所に届かないのは、何かネックになっているものがあるのか。

(事務局 坂田主査)

アフタースクール以外に、児童館や学童保育などの児童の居場所づくりが行われていることや、人材を退職教員などのボランティアにお願いしているため、人材の確保が難しいと聞いている。

(奥平委員長)

基本目標2の外部評価については、意見を付して「ア KPI達成に有効であった」ということでよいか。

(異議なし)

(奥平委員長)

次に、基本目標3の施策について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 坂田主査)

【資料2-2】に基づき説明

(奥平委員長)

「1 地域包括ケアシステムの構築」の実績値が「各種実施」となっており、こちらについてもできるだけ数値化して欲しい。特に、内部評価がAからBに変わっているが、その理由が分からないので、違いが分かるように検討して欲しい。

「2 健康増進・生きがいのづくりの推進」の「がん検診受診率」に関わって、私の家に、大腸がんと乳がんの受診勧奨はがきが届いたが、職場で別に受診する人に対して配ったとすると、お金も無駄にかかっているのではないか。

(事務局 三原室長)

基本的には、国保加入者と後期高齢者を対象としているため、一般企業に勤めている方にも届いているとは承知していなかった。担当部局に確認の上、次回報告させていただく。

(奥平委員長)

基本目標3の外部評価については、意見を付して「ア KPI達成に有効であった」ということでよいか。

(異議なし)

(奥平委員長)

次に、基本目標4の施策について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 坂田主査)

【資料2-2】に基づき説明

(奥平委員長)

「4 公共交通の再編」について、KPIは平成22年と平成30年で比較しているが、人口減少が進むほど、減少率が大きくなっていくので、内部評価がBよりCとなっていく内容となっている。前年に対しての人口減少率等を比較しないと、いつまで経っても数値は改善されないと思うが、いかがか。

(事務局 坂田主査)

毎年のバスの減少率よりも人口減少率が大きいので、平成22年当時と比較すると、その差は大きくなると思う。

(奥平委員長)

どんどん乖離が大きくなっていく。大きくなってBが続いているため、この数字だけ見たらCではないかという部分もある。この点は検討するべきだと思う。

基本目標4の外部評価については、意見を付して「ア KPI達成に有効であった」ということでよいか。

(異議なし)

(奥平委員長)

次に、基本目標5の施策について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 坂田主査)

【資料2-2】に基づき説明

(大橋委員)

平均宿泊数の伸びについて、どういった施策が効いていて、どこから来られた方の宿泊数が増えているかを詳しくみることで、今後に繋がると思う。

(事務局 坂田主査)

どういった地域から来られた観光客が増えているか、どういった傾向があるのか、現在データを持っていないため、担当部局に確認の上、次回ご報告させていただく。

(奥平委員長)

プロモーションをどこにかけるということを決めるのに、非常に重要になると思うので、私のほうからも観光部に伝えておく。

(奥平委員長)

基本目標5の外部評価については、意見を付して「ア KPI達成に有効であった」ということでよいか。

(異議なし)

#### (4) 地方創生交付金対象事業の評価・検証について[平成30年度実施事業]

(奥平委員長)

次に、議事の(4)「地方創生交付金対象事業の評価・検証」について、事務局より説明をお願いします。

(事務局 坂田主査)

【資料3-1, 資料3-2】に基づき説明

(大橋委員)

「1 美食のまち函館」の実績値だが、過去5年間の伸び率の平均を乗じて推計したとのことであるが、次年度調査を行った結果、違う数値が出る可能性もあるので、アンケートを実施していないのであれば、把握していないと回答した方がいいのではないか。

(奥平委員長)

私も、調査していないのであれば、調査していないと書いた方がいいと思う。検討していただきたい。

(事務局 三原室長)

平成30年度で終了する3か年の交付金事業であり、国に補助申請、実績報告する際にKPIの実績を出さなければならないため、担当部局がこのような形で出してきたと思う。これから国

に実績報告する際に国から指摘があるかもしれない。

(奥平委員長)

観光消費額の増加があまりにも多いので、どうかと思った。担当部局にも確認いただきたい。

(奥平委員長)

この事業については、意見を付して「a K P I達成に有効であった」としたいと思う。

(異議なし)

..... 4 そ の 他 .....

(奥平委員長)

その他として、委員から何かあるか。

(なし)

本日初めての会議だったが、三島委員、何か発言があるか。

(三島委員)

内容は良くまとまっているが、具体的なことがあまり見えない。数字だけで表記するのではなく、どこから出た数字なのか、項目に対して漠然としている印象がした。

(奥平委員長)

事務局で次回以降検討していただければと思う。

..... 5 閉 会 .....

(奥平委員長)

次回の推進会議は、10月頃を目処に別途連絡する。

これをもって、令和元年度第1回函館市まち・ひと・しごと創生推進会議を終了する。

以上